

消化管内科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	ヘリコバクターピロリ陰性胃癌の遺伝子異常について
研究機関名及び 研究機関の長 (試料・情報の管理 責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(担当科) 消化管内科 (職名) 准教授 (氏名) 海老正秀
試料・情報の利用目的 及び利用方法	<p>[利用目的] ヘリコバクターピロリ陰性胃癌の患者さんにおける遺伝子異常を調べる事を目的としています。</p> <p>[対象となる患者さん] 2014年1月から研究実施承認日までに【ヘリコバクターピロリ陰性胃癌】と診断された患者さん</p> <p>[研究期間] 研究実施承認日 ～ 2026年3月31日</p> <p>[利用方法] カルテ情報より、患者さんの性別、年齢、既往歴、内服、内視鏡所見、病理診断などを入手します。患者さんの病理組織検体からDNAを抽出し、専門機関にて遺伝子異常を調べます。研究計画書、研究方法に関する資料を入手又は閲覧できます。希望する場合は下記連絡先までご連絡ください。 研究により得られた個人情報、遺伝子情報は他機関に漏洩することはありません。</p> <p>[他の期間へ提供される場合はその方法] 当院にて採取した組織の一部を郵送にて QIAGEN という会社に送り、遺伝子を調べます。</p>
利用又は提供する試料・情報の項目	試料：【診療において採取した病理組織の余剰分】 情報：【年齢、性別、既往歴、内服薬、内視鏡所見など】
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	非該当
提供する試料・情報	非該当

の取得の方法	
提供する試料・情報を用いる研究に係る研究機関名・研究責任者名	非該当
利用する者の範囲	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2025年3月31日までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 消化管内科 担当者：(職名) 准教授 (氏名) 海老正秀 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 23480)